

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高ボッチ高原 保全と利用の両輪事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 塩尻市観光協会 0263-54-2001
事業区分	(6) ア
事業タイプ	ソフト
総事業費	757,520 円 (うち支援金 : 606,000 円)

事業内容

・新型コロナウイルス感染症対拡大及び豪雨災害による通行ルートの閉鎖により計画していたほとんどの事業が実施できなかった。そのような中、高ボッチ高原において観光客の滞在時間が延び、且つお金を落とせるようなコンテンツ作りとしてトレッキングツアーが実施できた。

・また、高ボッチ高原での新たな活用提案として市民と関連業者の協力を得て「高ボッチ高原ウェディング」を実施し今後の可能性等を探った。



【トレッキングツアー】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①「トレッキングツアー」を開催(11名が参加)。

※コロナ禍のためイヤホンガイドを使用。

参加者の反応等より有力な体験コンテンツとなり得ることが分かった。

②「でいだらボッチ館」(管理棟)及びキャンプエリアの有効且つ新たな活用方法として「高ボッチ高原ウェディング」を実施。

当事者や協力事業者より多少の修正は必要だが、新たなコンテンツとしての可能性があることが分かった。

【目標・ねらい】

- ① 体験プログラムの企画・実践・検証
- ② 「でいだらボッチ館」及びキャンプエリアの有効活用

※自己評価【C】

【理由】

新型コロナウイルス感染症拡大により、当初計画していた事業ができず一部事業内容を変更しました。来年度に繋がる準備はできた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

コロナ禍にもかかわらず来場者が増えている「高ボッチ高原」はまだまだポテンシャルを秘めているといえる。来年度以降もアウトドアブームやメディア等と上手く連携して、さらに多くの観光客に来場してもらうよう魅力づくりを継続していく。それと同時に、自然環境の継続的な維持管理や各施設の運用ルールを整備することが喫緊の課題であり、利用と保全の両面をバランスよく実施しながらイベント参加費や施設の利用料等での収入を得て魅力ある観光地として運用していきたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある